

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第204日 - 205日

英語版はソフィア・オリニクさんとマリヤナ・ザヴィシカさんによって作成されました。
日本語版はダリヤ・ゴリナさんたちによって翻訳されました。

人権 ハルキウ州での反撃に成功した後、ウクライナはこの地域の回復を開始しました。解放されたイジュームで、[集団埋葬地](#)で少なくとも440体を発見されました。埋葬された遺体が発掘され、法医学検査に送られる予定です。さらに、警官は、ロシア軍が地元住民のために設置した拷問室を発見しました。占領者は常に少なくとも40人を拘束し、1日に2回お粥だけを食わせていました。占領者はウクライナ軍を支援したボランティアと退役軍人を探していました。

国家緊急サービスは、ロシアの占領者による[「ろ過措置」](#)を受けた後、ハルキウ州の地下室に[1週間閉じ込められた](#)5人のティーンエイジャーを発見したと報告した。15歳から17歳の子供たちは、クピャンスク、イジウム、チュフイフ地区出身でした。解放されたデルハチーコミュニティの長は、避難したいと思っていたが車を持っていなかった住民の[避難が進行中](#)であると言いました。クトウジフカで、村の残りの市民が幼稚園の地下室に1か月以上住んでいました。120人の大人と40人の子供が、水、電気、ガスなしで1か月以上[生き延びました](#)。

現在、警察は、最近解放されたハルキウの都市や村でロシアの侵略者が犯した戦争犯罪について、[すでに刑事訴訟を開始](#)しています。全体として、イジュームの破壊の規模は、キエフ州のポロジャンカなどのいくつかの都市に匹敵できます。傷者数の点では、[ブチャの2倍](#)です。

木曜日、ロシア軍によるマリウポリに捕らえられたウクライナのボランティア衛生兵であるユリヤ・パエフスカ(タイラ)は、米国議員に[証言](#)しました。彼女の拷問、死、恐怖の経験を詳述しました。3月にマリウポリで拘束され、ロシア軍に3か月間拘束されたパエフスカは、ヘルシンキ委員会に演説しました。

占領を受けている都市 一時的に占領されたクリミアで、聴衆の前でバイラクタルドローンについての歌を演奏した教師は[首になってしまいました](#)。「バフチサライ地方裁判所」と自称するこの違法組織は、クリミア・タタールの結婚式でDJ として働いて、ウクライナの歌を流したアクテム・ヘメジによる[「行政違反」の疑い](#)について調査を開始しました。

最近、ヘルソンで警察はロシア軍の犯罪に関する[27件の刑事訴訟](#)を開始した。例えば、ノヴァ・カホフカ市で、占領者が事務所やワークショップなどの電力会社の建物を押収しました。50万グリブナ以上の貴重品が盗まれました。

ヴォロディミル・ゼレンスキー大統領府の顧問であるミハイロ・ポドリャクはロシアの国境警備隊は、占領地でロシアのパスポートを取得した人々が国境を越えることを許可しないと[述べました](#)。

攻撃を受けている都 9月15日、ロシア軍は最近解放されたイジュームとクピャンスクを標的にし、住宅に損害を与え、12歳と13歳の子供を含む12人の民間人を負傷させました。9月15日、ロシア軍はさまざまな武器を使用してハルキウ州全体を攻撃しました。死傷者は報告されていませんが、発電所が攻撃された後、セレディナ ブダ市は電力を失いました。

9月14日、ドニプロペトロウシク州のクリヴィー・リーは、ロシアのミサイル攻撃を受けた結果、洪水が発生しました。9月15日、州緊急サービスは、100以上の家屋と農場がインガレット川によって[浸水](#)したと報告しました。9月15日、[巡航ミサイル](#)がクリヴィー・リーの工業に命中したと報告されています。死傷者は報告されていません。

外交政策 水曜日、毎年恒例の欧州連合の演説で、ウルズラ・フォン・デア・ライエンは、ロシアに対する抵抗を維持し、民主的価値のために戦うことを支援しながら、ウクライナへのさらなる継続的な支援が不可欠であると強調した。演説で、ウクライナ人にEUの無料モバイル ローミング エリアへのアクセスを許可する可能性に言及し、穀物貿易の例に倣って、ウクライナがEUの巨大な市場への輸出を促進するのを支援すると政治家が約束した。

木曜日、欧州委員会のウルズラ・フォン・デア・ライエン委員長は、本格的な侵略が始まって以来、3度目にウクライナを[訪問](#)しました。会議では、財政およびエネルギー支援の問題に触れました。ヴォロディミル・ゼレンスキーとウルズラ・フォン・デア・ライエンは、ロシアに対する圧力の継続、特に第8回制裁パッケージの採用について議論しました。さらに、EU は今年、欧州平和ファシリティを通じて、歴史上初めてウクライナを支援するための軍事援助に共同で資金を提供した、とロイターは[強調](#)しています。「フォン・デア・ライエン氏は、プログラムからのさらなる支援が将来行われる可能性が高いと述べ、ウクライナの北東部と南部での最近の電光石火の反撃がウクライナだけでなくヨーロッパ全体で精神を高揚させると述べました。

木曜日に国務省に送られたホワイトハウスのメモによると、米国のジョー・バイデン大統領は、ウクライナ軍がロシアと戦いに支援するには6億ドルの新たな武器パッケージを[発表](#)しました。 ホワイトハウスのメモには、この資金が軍事教育と訓練に使用されることも記載されています。ロシアの侵攻以来、ワシントンはキーウ政府に約151億ドルの安全保障支援を送ってきました。

経済安全保障。ウクライナは、緊急のニーズを満たすために欧州投資銀行から5億ユーロの緊急援助の最初の支払いを受けました。割り当てられた資金は、損傷した道路、橋、鉄道インフラの緊急の修復を確保するために、ウクライナ政府が優先的な短期的な財政的ニーズをカバーするのに役立ちます。この資金は、戦略的な国営企業「Ukratodor」と「Ukrzaliznytsia」の支援にもなります。鉄道の接続、道路、橋の修復はウクライナが人、貨物、穀物の輸送を継続するのに役立つだろうと[声明](#)は述べています。ウクライナは世界最大の穀物輸出国の1つであるため、これらの重要な措置は国の経済を回復し、EUとの関係を改善するのに役立ちます。

エネルギー安全保障。IAEAによると、ザポリージャ原子力発電所と3番目のバックアップ電力線との接続が更新されました。ウクライナのエンジニアは、ザポリージャ原子力発電所の近くにある重要な電力インフラの修復をさらに進め、発電所にバックアップ電力線への新たなアクセスを提供しました。これは、ヨーロッパ最大の原子力発電所であるザポリージャ原子力発電所への3つのバックアップ電源ラインすべてが、過去数日間で復旧したことを意味します。木曜日、IAEA理事会は、ロシアがウクライナのザポリージャ原子力発電所の占領を終わらせるよう要求する決議を可決しました。この決議は、国際原子力機関の理事会によって可決された、ロシアのウクライナ侵略に関する 2 番目のものではありません。

ハリキウ地域の電気接続は、週末の激しい砲撃の後、完全に回復しました。しかし、ゼレンスキー大統領と地方当局は会合を開き、冬季のエネルギー安全保障を確保して、さらなる混乱を回避する方法について話し合いました。

ウクライナ、モルドバ、ルーマニアは、国境を越えた電力取引を増やすことに合意しました。各国の外相とエネルギー大臣は、9月15日にオデッサで会合し、エネルギー安全保障について話し合い、モルドバとルーマニアへのウクライナの電力供給を拡大する多くのプロジェクトに合意しました。

食料安全保障 木曜日に米国政府が支援する報告書を参照して、ロシアは、2月に侵攻して以来、ウクライナの作物貯蔵能力の14%を破壊、損傷、または支配権を奪い、世界の食料供給を危険にさらし、将来の収穫を脅かしていると、ブルームバーグは報じました。研究者は、全国のほぼ1,400の貯蔵施設のうち344の貯蔵施設の衛星画像を調査し、ウクライナの穀物貯蔵能力は、戦前の5,800万トンから4,980万トンに減少したと結論付けました。研究者によると、ウクライナが世界市場と人道支援機関の両方にとって重要な食料供給者としての役割を果たしていることを考えると、その損失は広範囲に壊滅的な影響を与える可能性があります。農家が穀物を保管するスペースがなくなることを恐れて作付けを控える可能性があるため、将来の収穫量が減少する可能性がある」と述べました。

制裁 アメリカ合衆国財務省は、ウクライナに対するロシアの侵略に関与した2つの組織と22人の個人に対する制裁を発表しました。これらには、チェチンの有力者ラムザン・カディロフと彼の家族、およびロシアの子供の権利の大統領コミッショナーであるマリア・リボワ・ペロワが含まれます。マリア・リボワ・ペロワは「何千人ものウクライナの子供たちをロシアに強制送還するためのロシアの取り組みを主導した」と合衆国財務省と述べました。このリストには、ウクライナでロシア軍とともに戦闘に参加したロシアのネオナチ準軍事グループであるタスクフォース・ルシッチや、クリミアにロシアが設置した裁判官も含まれています。

国内セキュリティ ウクライナ保安庁によると、ウクライナの裁判所は9月15日に親ロシア派の野党プラットフォームフォーライフ政党の控訴を却下し、ウクライナでの「最終的にその活動を禁止した」とのことです。この党は、大逆罪で起訴されたロシアの独裁者ウラジーミル・プーチンの親しい同盟者であるヴィクトル・メドヴェチュクによって率いられました。

メンタルヘルス ウクライナでは、全面戦争が始まって以来初めて、人口の精神的健康状態の調査が行われました。回答者の大部分(90%以上)は、心的外傷後ストレス障害の症状の少なくとも1つを発現しており、市民の57%が心的外傷後ストレス障害を発症するリスクがあります。

文化 欧州委員会は、「クリエイティブヨーロッパプログラム」の下で、500万ユーロ相当のウクライナ人アーティスト向けの特別募集を発表しました。このプロジェクトは、国外のアーティスト、ウクライナの文化団体、戦後のウクライナの文化および創造的セクターの中期的な回復に向けた準備を支援しています。

読書コーナー

- [Ukraine Symposium – Russian Crimes Against Children | Lieber Institute West Point](#)
- [Ukrainians are joyful as the Russian occupiers flee, but we must be wary of an ambush by Nataliya Gumenyuk | The Guardian](#)

総計情報

- 戦争開始以降、ロシアはウクライナの領土で発射された3800ロケットを**発射しました**。
- ウクライナ軍参謀本部は2022年9月16日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約54,050人、戦車2199台、装甲戦闘車両(APV)4,690台、砲兵システム1302台、多連装ロケットシステム(MLRS) 312台、対空戦システム168台、固定翼航空機 246台、ヘリコプター 216台、軽装甲車3,550台、ポートおよび軽装ポート15台、運用戦術レベルUAV908台、特殊装備121台、移動式短距離弾道ミサイルシステム233台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- [ボランティア翻訳者](#)としてSharetheTruthsプロジェクトを支援してください。
- [Twitter](#)と[Web](#)サイトで毎日アップデートを読んでください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！